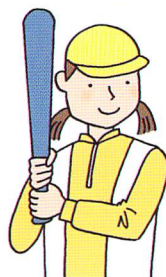


17 バッティング編(2) ～参考プログラム～

P.18のバットの持ち方を参照してください。
バットが短かったり左右がわからない子がいた場合は
右記の持ち方も参考にしてください。

☆この説明は右利きの場合です、左利きの場合は反対になります。

左手が下、右手が上でにぎる。



くるっとバッティング

☆バッティングティー、ボール、バットを使用します。



1. 「足はパー」で足を肩幅くらいに広げ、「合わせて」でボールとバットのマークを合わせます。身体の真ん中あたりにティー台がくるようにします。
2. 「引いて」でバットを後ろに引いて、水平に振ります。
3. 「くるっ」で腰を回転させて、思い切り打ちます。

POINT

「合わせて」の時のティー台の位置を確認しておきましょう。
空振りOKという雰囲気を作りましょう。
効果的にボール集めを行うために、壁やフェンスがある方向に
打つようにするとよいでしょう。

※待っている人の立つ位置を決めておきましょう。